

介護老人保健施設

ほのぼの苑

だより

発行所
〒018-1401
南秋田郡昭和町大久保字街道下92-1

医療法人 正和会
介護老人保健施設
ほのぼの苑

TEL (018) 877-7115
FAX (018) 877-7481

ホームページ
<http://www.seiwakai-akita-no1.or.jp>

編集責任者 加藤稔樹
発行責任者 小玉敏央



平成十六年を振り返り…

この「ほのぼの苑だより」が月刊発行に切り替わってから、六カ月が過ぎ、毎月充実した行事が行われ、そのにぎやかな様子を誌面を通じて皆さんに滞ることなく、お届け出来たことを嬉しく思います。またボランティアとして行事に参加して下さった皆さんにも改めてお礼申し上げます。

今年には湖東老健の開設に伴い、職員の大幅な異動がありました。新しく加わった職員と共に、ほのぼの苑を良くしていきたいと思い、頑張ってきました。皆さんも面会にいらした際にお気付きだと思いますが、苑内の様子も随分変わり、入苑者の方々が心身共に快適な生活を送るための環境も整ってきているのではないかと思います。

通苑者の方々にも居心地の良い空間を提供するため、デイケア室の拡張とテーブル、ベッド、ソファアの増設を行いました。

その他にも災害対策の強化、職員接遇の改善等、数々の業務改善も行ってきましたが、これに慢心することなく、今後も向上心を持って、より良いサービス提供のため、より一層頑張りたいと思います。

大久保小学校 交流会

十二月一日・三日・六日と三回にわたり、大久保小学校 六年生の皆さんが入苑者・通苑者の方々と交流の機会を作ってくれました。当苑まで徒歩で来てくれた六年生は疲れなど全く見せず、次々と素晴らしい発表を披露してくれました。

演技の内容は、リコーダーの美しい演奏、「小さい秋」と「ふるさと」の大合唱、宮沢賢治「アメニモ マケズ」と清少納言「枕草子」の暗唱、「ソーラン節」「秋田音頭」のリズムカルな踊り、充実した内容と各クラスそれぞれの個性も出ていて、まるで大久保小学校の学芸発表会を行っているような雰囲気会場内を包み込みました。

ふれあいの時間では、折り紙、メッセージカード、手作りのマスコットが贈呈され、肩たたきや握手等で、会場はさらに活気に沸き、入苑者・通苑者の方々から笑顔と喜びの声が消えることはありませんでした。小学校生活、最後の交流会は一生懸命さが伝わり、その姿に感動し、六年生の皆さんと入苑者・通苑者の皆さんが充実した時間を過ごした三日間でした。



豊川小学校 交流会

十一月二十六日(金)に豊川小学校一年生と四年生が総合学習の一環として来苑しました。当苑にはマイクロバスを利用し、さながら遠足に出かけるような雰囲気です。

初めに一年生がステージに上がり、小さな訪問者の登場で、会場が和やかな雰囲気になっていきました。子ども達の一生懸命な姿に思わず涙ぐむ方もおりました。

四年生は施設見学を行い、介護老人保健施設で働いている職員に対する質問を介護職員とリハビリ職員に行いました。子ども達の真摯な態度による質問に対して職員も緊張した面持ちで答えていたように思えます。

訪問の最後には児童から苑にうさぎ二匹の贈呈があり、入苑者も思わずプレゼントに喜んでいました。現在もうさぎは当苑の中庭で元気に駆け回っており、入苑者や職員を癒してくれる存在となっています。

豊川小学校には昨年度も車椅子の贈呈をしていただき、感謝しております。今後も交流を盛んにしていきたい、よりよい相互理解が図れる場としていきたいと思えます。



今月のほおろオ

「今月のほおろオ」とは介護する上でアドバイスや知識を、本人はもちろんのこと、ご家族の方にもお知らせするコーナーです。

食事介助の基礎知識

介護福祉士 伊藤 瑞穂

【食事とは】

生命・健康を維持する上で欠かせない基本的欲求の一つです。食べる行為は、栄養補給するだけでなく、楽しみであり、生活上の充足感や満足感、さらに思考能力をもたらす重要な意味を持ちます。

【食事介助の基本】

- ① 環境や体位を整える
- ② 口腔を清潔にする
- ③ 残存機能を生かす
- ④ 食べやすい食事内容・食器類を使う
- ⑤ 食べる方の状態を把握する

【食事介助の方法】

I 嚥下困難がある場合

「嚥下」とは「飲み込むこと」です。

基本的には椅子に座ってもらいます。人によって飲み込みやすい姿勢が変わってくる場合があります。状態に合わせて座り方の工夫・調理の工夫を

します。口に運ぶ量やむせ・飲み込みの状態を確認する必要があります。最後に口の中に食べ物が残っていないか確認して下さい。むせが続く時は、無理をしない様にします。

II 痴呆がある場合

まず痴呆の状態を知る事からはじめます。口いっぱいには食べ物を詰め込んでしまう方には魚の骨等を始めから取っておくようにし、安心して食べてもらえるようにします。なかなか食事を摂りたがらない方や落ち着いて食べられない方に対しては無理強いせず、まずその原因が何なのか知る事から始め、時間をずらして勧めてみて下さい。

III 視覚に障害がある場合

分かりやすく説明するだけで食べる事が出来る方・食器の位置や食器・食事内容の工夫をすると食べられる方と症状によって様々ですが、声掛けと熱傷に気を配り、食事の温度を確認する事が大切になります。

IV 麻痺がある場合

食べ物が麻痺側に残りやすくなりがちなので、なるべく健側から食べさせて下さい。この時、口の中に食べ物が残っていないかを注意する事も忘れないで下さい。麻痺の内容も個々そ

れぞれなので、食器の工夫や自動具の工夫、食器の位置、一口大の食事内容を考える事も大切です。



色々な補助具・補助食品

【おわりに】

食べると言う事は当苑の利用者にとって、大きな楽しみの一つになっています。私たち介護職員はこれからも個々の利用者にあつた食事を工夫し、楽しく食事をして頂けるような配慮をしていきたいと思えます。また、ご家族の方で食事に関して、何か分からない事がある時は、いつでもお聞き下さい。

次回は快適な睡眠についてお話しいたします。お楽しみに。

12月の誕生会・行事ご案内

12月の誕生会は26日に行います。

今回は「秋田南中学校」の吹奏楽部50名による大演奏会を予定しております。1年を締めくくるに相応しい素晴らしい演奏となることでしょう。

ご家族の方々のたくさんのご参加を、職員一同心よりお待ちしております。

12月行事担当職員一同

ほのぼの苑 バイキング

12月8日「だいにんぐ ほのぼの」にてバイキング料理を行いました。普段とは違う食事の形式が新鮮な雰囲気を感じ、入苑者・通苑者の方々から笑顔を見ることが出来ました。食後はほのぼの喫茶からジュースやケーキを食べることができ、充実した食事の時間を楽しんで頂けたと思います。



ボランティア・慰問・奇贈（平成16年11月）

- 北嶋 一美 様（マジックショーと唄）



ほのぼの掲示板

お正月の外泊について

お正月に外泊を希望される方は、お菓やお車での送迎の準備がごさいますので、お早めにお知らせ下さい。



幸福

いよいよ、年末となり、クリスマスや大晦日などの行事のために、家でも職場でも慌ただしくなる。私の家では、クリスマスツリー、ケーキ、子供へのプレゼントの準備などがある。何となく子供には、学校でのクリスマスの話題になった時、寂しい思いをさせたくないために、父親は知らず知らずのうちに頑張っている。また、正月の準備にしても、粗末にすればバチが当たるのではないかと心配してしまう。何はともあれ、小心者の私は色々気にし過ぎて、無駄にも思える出費を毎年の様に繰り返している。ただ、毎年病氣もせず、家族が無事一年を過ごせたのも、そのおかげかもしれない。ここだけの話だが、最近百円ショップによく行く。結構立派な正月用品が並んでいた。今年は正月用品だけは百円ショップを利用してもらおうと、密かに思っている。皆さんも一度行ってみて下さい。アイデア次第で出費を抑えたお正月を送れるかもしれません。

編集後記

早いもので、今号が平成十六年最後のほのぼの苑だよりとなりました。ほのぼの苑内にもクリスマスイルミネーションが裝飾され、中庭に飾られた雪だるまやツリーは、この一年を締めくくるにふさわしい柔らかな光を放っています。来年も様々な行事を企画し、皆様楽しんで頂けるよう努力して参ります。

（カ）